

野岳 ~ 松下塾 ~

【報 告 者】樺島

【日 時】2007年9月30日 【天 候】曇り時々雨

【参 加 者】金崎・松下・島田・坂本・泉(富)・泉(麗)・樺島

ルート名

ミスター礫、禁じられた遊び、アンダー・トゥー・アンダー、マシュー、ダーティ・レイバック、セシボン、パイオニア・スピリッツ、リアンとリッキー

報 告

初野岳です。隣では世界ユース選手権2位の樋口さん(14)が登っており、先日の四阿屋での“ No Sight But On Sight ! ” で知られたモンキーマジック代表の視覚障害をもつクライマー小林さんに続いて、貴重な登りを目の当たりにできる恵まれた状況。

まずは私が、坂本さんがスルスル登ったというミスター礫にオンサイトトライします。あんまり書きたくありませんが、これはもうテンションと言い飽きて途中で止めました。競争が得意でない私ですが、彼持ち前のスポ根的指導や経営者気質を発揮される前にひっくり返しておかないと、うっかりしていると部下のようになってしまうかもしれません。

この日はもう、狙ったところを次々と征する島田さんと、上昇志向爆発(とまでいえないか...この日は燃焼程度?)の坂本さんを中心にまわり、要所々々で金崎さんが先鞭をつける形で進みます。何だか3人は楽しそう。途中、泉夫妻が合流し、ご夫婦なのに“麗子さん”“泉さん”と呼び合ういつものおもしろトークに癒されたりしておりました。

で、事件はそろそろ終わろうか~という夕方に発生。私は少し離れたルートにおり、直接見ることは出来ませんでした。終了点近くで坂本さんが落ちた際、既に掛かっていたヌンチャクが外れました。2つ目のヌンチャクで止まり、事無きを得ましたが、場所が場所だけにボルト3つ分の距離を墜落したことになります。トラバースぎみにルートから逸れようとした際に落ちた為、ヌンチャクが横向きに引っ張られ、ボルトと干渉してカラビナのゲートが開いてしまうという非常にレアなケース。とっさにヌンチャクのスリング部を掴もうとして、当のヌンチャクが外れる様子を直視した坂本さんの気持ちは想像を絶しますが、横向きにぶらさがった後、下ろされた本人は非常に落ち着いた様子。“意外と何も(恐怖も)感じなかった...。死ぬ時もこうかも知れないね。”とのこと...。ヌンチャクのゲートの向きは正しかったようです。横向きにねじれ

るうちに…。恐ろしいことです…。

最後は、厳しい消耗ルート直後の金崎さんにギアの回収をお願いし、渾身の…根性の…回収。“ビール買いますから！”“黒霧献上します！”等の声援も、終わった後はありがとうありがとうで、うやむやにさせて頂きました。本当に有難うございます。

やはり、外岩はジムより好きです。もし、強くなって同レベルのパートナーとチャチャッと数をこなし、お昼寝も有りってことが出来れば、きっと一層素敵でしょう(いつもご指導頂きながらスママセン！)。外はジムより良い？…ってことは、自然ありのままのボルダーやアルパインは、ゲレンデより一層良いのでは、なんて夢を膨らまして懸垂しています。



でや～！